

書類作成日：令和 7 年 6 月 27 日

第 5 回 運営推進会議 参加者意見報告書

★出席者から頂いた、コスモ療養通所アンジュの

運営・活動状況に対する評価、要望、ご意見等を以下に要約しました★

地域包括支援センター大相模 様

- 包括の立場ではなかなか触れることがない場所（包括の担当は要支援や支援もついていない方々のため）療養通所の現場を見るのも今回初めてでした。
- 以前（担当が）回復機能向上目的のリハビリ病院で働いていた経験があり、ご利用者様のような身体の方も多く通院していました。退院後お家に帰るにあたり、なかなか難しい状況の方も多く、一般的なデイサービスでは医療的な対応ができないため、家族の介護負担を考えると在宅ではなく施設を選択せざるを得ない方が多くいました。
- 療養通所のような、医療的・介護的なケアを行えるところが、現状、施設数としてはかなり少なく、人員の問題もありますが、もう少し同様の施設が増えてくれれば、お家に帰れる・在宅でケアができるという選択肢がもっと増えていくのかなと思いました。
- 現場として人員の問題・個々の要望への対応・インシデント、ミス O での運営等なかなか難しいとは思いますが、現場の皆さんがご利用者様へより良いケアを提供することを目指していただけていることが、地域としても頼りがいがあり安心できる手段の一つではないかなと思います。ぜひこれからもお願いします。

居宅介護支援事業所 シーパス 様

- 一般的に聞くデイサービスだと対応が難しい状態のご利用者様が、週 2 回デイサービスに通えることをありがたく思います。
- ご本人様の表情も穏やかそうにしているので、長く通えているなじみの場所としてこれからも継続して利用できればと思います。
- 制作活動もしているようで、ともに作品作りをしていく、何かに触れるというのはとてもいい活動だなと思いました。引き続きよろしくお願いします。

ご利用者様（ご家族）

- 利用後に「今日は男の人だった？女の人だった？」等、毎回様子を本人に聞くと本人は覚えていない様子だけど、「今日は優しくしてもらえた？」と聞くと本人は必ず「うん」と返事をしています。
- 左足を引きずっていて靴下が破れてしまっていた件（最近はないが）スタッフより本人に足元気を付けてね、と声がけをしてくださっているが、実際、本人は麻痺で足が動かせないなので、ケアにあたる方に足元の注意をしてもらえたら助かります。
- リハビリに関しては日々の連絡帳に記載されている内容でしか判断ができないので、具体的な内容は不明ですが、通所で身体を動かしたり起こしたりしているためか翌日にお通じがあることが多いです。

ご利用者様

- 家の食事に関して

朝と晩は口から食べさせています。最近は一口目から「もういい」がでてきてしまうので、半ばごまかしながら食べさせている状態。

- ゼリーなど療養通所では完食しているとのことですが、スムーズに食べていますか？

家では食事を途中で止めてしまう様子が多々あります。

ごはんの内容はおかゆとペースト状のかぼちゃなど。

- ほかの利用者さんとの交流はありますか？接すること自体を禁じられてはいない？

お友達できた？と聞くけど「できるわけじゃない」とかえってくるので…。

（交流の有無は別として、過ごしているときの周りとのご様子が気になるような様子）

家では家族がからかったりはしているけれど、外部との交流はないです。

（ほかの利用者様と交流があると、ご本人様へのいい刺激になるかなと思っている様子）